

大阪 市況膠着も需要減退が徐々に表面化

複数で制限買い

(大阪) 大阪地区の鉄スクラップ市況はなおも膠着推移。月後半に入っても、電炉間の入荷促進が継続して行われる一方、在庫過多や入荷増を受け、ここにきて複数が品種・時間制限を打ち出すなど、需要減退が表面化しており、輸出相場の下落も加わって、下旬以降、引き合いは弱まる動きが予測されている。同地区電炉のH2実勢値は2万5,500～2万6,500円(一部上値2万7,000円)、新断バラ同2万8,500～2万9,500円(一部上値3万円)、鋼ダライ粉バラ同2万2,000～2万3,500円見当で推移。

先週11日からの東京製鉄西日本3拠点の値上げに対して、各社、価格対応を見送ったが、電炉筋によっては入荷促進に向けて、これ以前から水面下で実勢以上を提示し、今週にかけても飛び出し値が残る展開にあるようだ。H2品に関しては需要家側もここまで殺到を口にする声が乏しいなか、今週後半には荷動き停滞要因となる12月落札分の共同輸出船積み(5,700トン)

が控えるとあって、「他地区への流出にも配慮しなければならない、東鉄が下げ動かない限り、品種によっては実勢上値もしくは超える動きは継続せざるを得ないのでは」(ヤード業者筋)との見方も聞かれる。

だが、先週と今週に行われた東西の輸出入札価格がいずれもヤード側の想定を下回り、輸出商談の軟化が鮮明になりつつあることで、これに前後して出荷繰りが早まっているようだ。元々、電炉筋の多くが越年在庫に余力を抱え持つなか、入荷好調の継続によって、大阪製鉄が17～20日まで時間制限買い、中山製鋼所もHS、ダライ粉の荷止めを行っており、需要後退が顕著となっている。輸出下落を受け、関東湾岸買値もジリジリと値を下げているほか、為替も製品・スクラップ環境に不利な円高へ向かっていることで、「内外ともに悪材料が目立ち始め、地区内も高値是正がすすみやすくなるのでは」(商社)と見る向きが多い。

近畿工業 17年度中に遠隔監視システムを全機種に標準搭載

異常やメンテナンス時期を瞬時に把握

(兵庫) 破碎・選別機メーカーの近畿工業(株)(本社=兵庫県神戸市中央区栄町通4丁目2番18号、和田直哉社長)は遠隔監視システム「KINKI TRACKING SYSTEM」を17年度中に全機種で標準搭載することを計画している。

同システムは機械メンテナンスにおいて重要な消耗部品や駆動装置の監視に重点を置き、運転時間や逆転回数、圧力変動、温度などをセンサーで読み取り、その数値データがインターネットを介して、近畿工業(株)のメンテナンス部門に送られる仕組みだ。これによって、異常の予兆があれば、ユーザーへのメンテナンスや適切な処置アドバイスが遠隔地でも可能なだけでなく、蓄積したデータを基に、部品の短納期対応も図ることができ、機械の予防・保全にも役立てられる。データはタブレット端末やスマートフォンでも閲覧可能なため、ユーザーにとっては計画的なメンテナンスを行

うことができる。

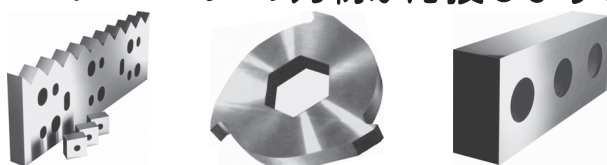
現在、同システムは累計販売台数1,200台の実績を持つ可燃粗大ごみの焼却前処理を行う二軸剪断式破碎機「シュレッドキング」シリーズに11年から搭載を開



東日本大震災でがれき処理に使用した二軸剪断式破碎機。来年度中には全機種に遠隔監視システムを標準搭載

始しているが、時代のニーズを反映し、17年度中に金属リサイクル企業向けのスーパーシュレッダーや分離破碎機、振動ふるい機など、全機種に標準搭載する予定だ。また、今秋にオランダで稼働を予定している二軸剪断式破碎機に同システムを搭載。カッターや油圧装置の整備時期を予測し、部品輸送時間を考慮した具体的なメンテナンス計画も立てられるため、国内だけでなく、海外においても安定操業が実現可能となる。

生産から廃棄物処理まで ナニワの刃物が応援します!



浪速刃物製作所

株式会社
本社 〒536-0004 大阪市城東区今福西4丁目3-22
TEL 06-6939-4871 FAX 06-6939-4874
東京 〒340-0025 埼玉県草加市谷塚仲町446-1
TEL 048-925-4554 FAX 048-924-1974
E-mail info@naniwa-hamono.co.jp

製鋼原料 ギロチンシャー プレス加工

- ギロチン材、鋼ダライ粉
- 新断くず
- ステンレス、その他非鉄全般

高価大量買付け



三浦金属株式会社

本社 大阪市西淀川区佃4-3-12
TEL 06 (6471) 1038 (代)
FAX 06 (6471) 2559